

今週のビルマのニュース 2008年5月2日【0810号】

今週の主なニュース：在日ビルマ人が国民投票での投票権を要求

・4月26・27日、在日ビルマ人民主化活動家約150～200人が軍政の憲法案の是非を問う国民投票への在外投票権を求め在日ビルマ大使館に早朝から並んだ。26日には警備に当たった機動隊員ともみあいになり、約10人が病院に運ばれるなどした。大使館が投票を認めなかったため、ビルマ人活動家は大使館前で投票を行い、連合職員など日本人が選挙管理委員係を務めた。開票結果は賛成6、反対224、無効2。票は大使館の郵便受に入れられた。

その他：米国がビルマ軍政に追加制裁、ほか

・米国のブッシュ大統領は2日、ビルマの国営企業3社の在米資産を凍結し、商業取引を禁止する大統領令に署名した。国民投票についても、信頼できる投票にはならないと非難した。

・欧州議会は24日に決議を採択し、国民投票プロセスが民主的正当性を欠いていると非難した。

・民族住民に対する残虐な迫害の実態を日本の市民にも知ってほしいと、日英の専門家が東京で報告会を行った(27日)。国際NGO、クリスチャン・ソリダリティ・ワールドワイドのベネディクト・ロジャーズ氏は、ビルマ軍による民族住民への攻撃、子ども兵士の徴用、国内避難民の増加などの問題を写真を使って説明。ビルマ情報ネットワークの秋元由紀は、ビルマ軍による迫害行為と天然ガスなどの資源開発との関係を明らかにし、日本の政府や企業が軍政の開発事業に関わっている事実を紹介した。

詳しい記事はこちら(日刊ベリタ)：

<http://www.nikkanberita.com/read.cgi?id=200804292140492>

・米国のビルマ民主化支援団体、米国ビルマキャンペーンは1日に新キャンペーンを開始。30日間に渡って毎日、ハリウwoodsの人気俳優がビルマについての映像メッセージを発表するというもの。初日はウィル・フェレル、2日目はジェニファー・アニストンが担当。今後はシルベスター・スタローン、アンジェリカ・ハストン、シェリル・クロウほかが出演予定。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

今週の約束発表はなし。

イベントなど

・映画『ビルマ、パゴダの影で』トークイベント
ゲスト：テーテーイスフェ氏(3日、渋谷・アップリンク、上映14時半～・トーク15時50分～)

・『このままでは危ない！ビルマの未来—不公正な国民投票にNO!(仮題)』在日ビルマ人共同行動実行委員会主催(東京・南大塚ホール、7日17～20時)

・第53回ビルマ市民フォーラム例会(東京・池袋・ECOとしま8階、5月10日18時～20時半)

・映画『ビルマ、パゴダの影で』トークイベント
ゲスト：ティンアウン氏(DVB=ビルマ民主の声記者)(渋谷・アップリンク、11日上映16時半～、トーク17時50分～)

・写真展「ビルマ2007 民主化運動：高揚、弾圧、現在」の展示

・房総・和田町テトラスクロール(5月21日～6月1日)

・ジャカルタ、日航ホテル(5月21日～23日)

・ビルマ難民申請者(カチン民族)アウンラ氏(難民不認定取消の裁判と再審情願で在留特別許可請求中)裁判期日(福岡地裁三階302号法廷、19日午後1時10分)。公判後、福岡県弁護士会館で報告会。

・連続セミナー第2回「国籍・在留資格のない子ども」在日ビルマ人女性M氏、渡辺彰悟弁護士(在日ビルマ人難民弁護団事務局長)(早稲田奉仕園内日本キリスト教会館、6月14日14時～)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165